



## 呼吸器外科医療録③

### せき(咳)や たん(痰)について



咳は体から異物を外に出そうとする防御反応です。気道内では常に分泌物(痰)ができるので、咳が必ずしも異常ではありません。異物を間違っただけで肺に吸い込んだ場合は、直ちに外に出さないといけないので重要な反応になります。細菌やほこりが肺に入ると痰と一緒に排出されるため咳が増えます。肺の病気(炎症やがん)の場合も咳が増えます。

痰は気道内の分泌物で、白、透明、クリーム色などです。透明な痰でも長く続く場合は、アレルギー、気道の炎症があるかもしれません。

黄色や緑など色がついている場合は、肺の感染症が多いです。痰に血が混じっている場合、肺炎、肺がんが原因のこともあります。肺がんは早期には自覚症状はありませんが、進行すれば、咳や痰がでます。

咳の回数が増えた、痰も増えた、熱がある、息苦しいなどの症状がある場合は、早めの受診をお勧めします。

## けんこうQ&A 在宅医療③

### 通院医療と在宅医療、 できること・ できないことは？



在宅医療は、自宅で診察や治療を受けられる医療です。医師や看護師が訪問し、診察、薬の調整、点滴、在宅酸素療法などを行います。採血や心電図、超音波検査なども自宅で行うことができ、日常生活を続けながら治療を受けられる点がメリットです。

一方で、できないこともあります。CTやMRIなどの精密検査や手術、緊急の高度な処置は自宅では行えません。これらが必要な場合は、病院で検査や治療を受ける必要があります。

通院医療は、病院や医院にて、専門的な検査や治療を受けることができ

ます。また、急な体調変化にも迅速に対応できます。しかし、移動は大変ですし、待ち時間も生じます。これらの負担は我慢せざるを得ません。

それぞれの医療の良いところ・悪いところ・できること・できないことを理解し、自分に合った医療を考えましょう。

